

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告（2014年4月19日）

素晴らしい晴天の中、新年度の初めてのチーム・オール弘前号が出発しました。本日の参加者は、市民参加者 29 名、学生 8 名、教員 1 名の 38 名でした。本日は、年度初めに相応しく、初参加の新生が参加してくれました。また、市民参加者の中には初参加の方が多く、震災から 3 年という時間が経過していることを考えると、大変心強い年度初めとなりました。そして、もう一つ嬉しいことに、久しぶりに無断欠席者がなく、申し込みのあった 38 名が全員の参加となりました。中には、今年卒業した学生事務局の鈴木君が、進学した名古屋から 17 時間をかけて、バスを乗り継いで来てくれました。本当にありがたいことです。このような、一人一人のチーム・オール弘前に対する愛着が継続の力になっていると改めて思いました。感謝感謝。



道の駅「おりつめ」での記念撮影



タオル帽子教室・赤石先生

移動中の車中では、全員の自己紹介と学生事務局が作成した活動記録の DVD を上映、そして引率教員による震災直後から今までの活動の経緯や注意事項、そして本日の活動内容などに関する説明がありました。自己紹介では、昨年度の活動を振り返って感想を話してくれた方や昨年度の嬉しいエピソードなどを紹介してくれた市民がいて、ほのぼのとした時間となりました。



タオル帽子作り教室の様子

この日の活動は、中学仮設集会所での茶話会と、乳癌患者の会の赤石さんのタオル帽子作り教室、小学生向けの学習支援活動、中学生向けの学習支援活動(のんちゃんの隠れ家)でした。また、市民参加者から美味しいリンゴの提供がありましたので、戸別訪問をしてリンゴを届けることにしました。

中学仮設には、活動の開始前から顔馴染みの方々が我々の到着を待っていました。早速、茶話会の準備を進め、茶話会とタオル帽子作り教室が始まりました。タオル帽子作りは、抗がん剤治療で髪の毛が抜け、外に出る勇気も元気も失ってしまう患者さんに、同じ経験を共有する元患者さんがタオル帽子を通して勇気と元気を分けて、元気になって次の患者さんのために元気を分けてあげようという願いを込めて行う活動です。この日は、震災で大変な思いをしている野田の皆さんがタオル帽子を通して、元気と勇気を弘前や全国の患者さんに分けてあげることで、新たなつながりができればという願いを込めてタオル帽子作りを行いました。

教室が始まると、弘前からの市民団体の各先生が野田村の皆さんに一对一で帽子作りを教えていました。中には、針仕事が得意な野田村の方が、説明書を見ながら弘前からのボランティアに逆に教える場面もありました。一緒に手作業をしながらだといつの間にか溶け込んで、集会所のあちこちで大きな話声や笑い声が聞こえるようになっていました。この日の天気のように、温かく穏やかな時間が流れていました。また、この日は弘前からの市民の皆さんがいなりずしやおはぎ、漬物などを準備していただき、お昼の時間に一時中止することもなく、野田村の皆さんと一緒に食事をとりながら、美味しい、楽しい時間を過ごしました。



中学仮設住宅でのリンゴ配布と個別訪問の様子

また、リンゴの配布を行った戸別訪問では、市民と学生が二人一組で、中学仮設住宅、下安家地区仮設住宅、明内地区仮設住宅を訪問して配布を行いました。中には、学生の手を握って、迎えてくれた方もいました。また、足が悪く、外に出られなくなったというお婆さんは、昨年行ったハンドマッサージを忘れられないと、お蔭様で手がピカピカになったと笑いながら出を見せてくれました。また、訪れた市民ボランティアに仮設住宅での苦労話やいろいろと身の回りの話などを聞かせる場面も多くみられました。集会所の活動には様々な理由でなかなか顔を出せないが、このよう

に訪ねるとお話ができて、気が晴れるとおっしゃる方が多くいらっしゃることが分かりました。今後も継続して戸別訪問ができるように検討しなければと改めて思いました。



被災状況の見学ツアー



おもちゃの伝達

小・中学生の学習支援は、午前中だったために参加者が少なかったようですが、午後からは顔なじみの子供たちが集まり、短い時間でしたがいつも通りに体を精一杯動かして遊んだようでした。そして、最後には先月活動に参加して下さったおもちゃ病院の先生方が集めて下さったおもちゃと、弘前おもちゃ病院に入院していたおもちゃを児童センターの先生に伝達しました。弘前おもちゃ病院の皆さま、ありがとうございました。

そして、活動の最後には初参加者も多かったので、歩いて野田村の被災状況と復興事業の状況を見学しました。初参加者からは「津波の力を改めて知った。」、「テレビで見るのとは違う」などの声がありました。帰りのバスの感想では、「名前を憶えてくれる子供がいた」「野田村の方とお食事ができてよかった。」「野田村の方と楽しい時間ができた。」「参加してよかった、楽しかった。」「アットホームな雰囲気だった」「これからなんだなと」などの声がありました。とっても温かく、穏やかな、和やかな一日でした。ご一緒出来たことに感謝いたします。ありがとうございました。

(担当:李永俊)